

令和2年度鹿児島県優秀教職員表彰 46人と5組織が決まる！

教職員課

令和2年度鹿児島県優秀教職員表彰の表彰式、意見交換会を実施しました。



11月16日(月)に令和2年度鹿児島県優秀教職員46人及び教職員組織5組織の表彰を行いました。

この表彰は、学校教育における学習指導や生徒指導などの各分野において、顕著な実績のある教職員に対して、その功績を表彰し、併せて本県教職員の意欲及び資質能力の向上に資することを目的として、平成20年度に始まり、今回で13回目となりました。また、本年度から、新たに、教職経験が10年未満で、学校教育における教育実践等に顕著な成果を上げ、今後更なる活躍が期待できる教職員を「若手教職員等奨励賞」として表彰しました。

表彰式は、11月16日(月)に県庁で行われ、教職員個人の部では、小学校24人、中学校12人、高等学校6人、特別支援学校4人が表彰されました。このうち小学校2人、中学校1人、高等学校1人、特別支援学校1人が「若手教職員等奨励賞」として表彰されました。また、教職員組織の部では小学校2組織、中学校1組織、高等学校2組織が表彰されました。教職員個人の各分野の受賞者数は、学習指導分野19人、生徒指導分野4人、進路指導分野1人、学校体育・学校保健・学校給食分野6人、特別支援教育分野5人、部活動指導分野5人、学校事務分野1人、その他(地域貢献等)5人となっています。

表彰状授与後、受賞者を代表して鹿児島県立川内商工高等学校の満留匡樹教諭が、「学校が抱える課題も複雑化する中、児童生徒が力強く未来を切り拓く力を身に付けることができるよう、私たち受賞者全員が、どんな時代においても、教員として誇りを持ち続け、先頭に立って児童生徒を育ててまいります。」と力強くあいさつしました。

表彰式終了後は、教育委員を交えた意見交換会を行い、教育委員から優秀教職員の実践に対して様々な質問が出されました。また、優秀教職員の方々も他の実践を直接聞くことで、新たな刺激を受けているようでした。



〔教育委員を交えた意見交換会〕

県教育委員会ホームページに、受賞者の教育実践を紹介しています。